

5. 進行管理と評価・改善の仕組み

(1) 推進・進行管理の考え方

草津市総合交通戦略における戦略施策については、実施時期や主体が異なる多様な事業で構成されている。

そこで、戦略の着実な推進と適正な進行管理を図るためには、社会経済情勢の変化やそれに伴う市民の価値観の変化、上位・関連計画等との整合、行財政状況の変化、まちづくり事業の展開状況などを踏まえ、柔軟に対応する必要があることから、横断的かつ優先順位を考慮した事業の推進や変化に応じた計画の見直し、あるいは新たな施策の提案などを行う必要がある。

その際、データ収集や各種調査等によって、戦略施策の計画期間とあわせて、進捗状況の確認及び必要に応じた計画・目標の見直しを行っていく推進・進行管理体制を構築することが重要となる。

(2) 推進・進行管理の体制

戦略施策の着実な推進にあたっては、市民、企業・事業所、地域団体、市民活動団体、交通事業者、ならびに行政などの各関係者がそれぞれの立場・役割を明確にするとともに、より一層の連携を深め、関係者間の相互協力のもと、一体的に取り組んでいくことが重要となる。

そのため、年度ごとの事業推進について、本戦略の策定主体である草津市が、関係者と連携を図り、事業の進行状況を把握するとともに、必要に応じて関係者間で進捗調整や情報交換等を行う。



図 各関係者の役割と連携・協働関係

主 体	役割等
市 民	<ul style="list-style-type: none"> 行政や交通事業者等の実施する取組に理解を深めるとともに、積極的に参画・協力する。 ルールやマナーを遵守し、安全・安心かつ快適な交通環境を維持する。 かしこいクルマの使い方を考え、自らの交通行動を個人的にも、社会的にも望ましい方向へ転換するよう自助努力する。 など
企業・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 行政や交通事業者等の実施する取組に理解を深めるとともに、主に通勤・業務交通において、交通需要の適正化を図る。 ルールやマナーを遵守し、安全・安心かつ快適な交通環境を維持する。 かしこいクルマの使い方を考え、従業員の交通行動を個人的にも、社会的にも望ましい方向へ転換するよう企業努力する。 など
地域団体/ 市民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズを的確に把握し、行政や交通事業者をはじめとした関係者との連携・協働により、地域を維持・活性化する取組を実施する。 行政や交通事業者等の実施する取組に理解を深めるとともに、積極的に参画・協力する。 など
交通事業者 (鉄道、バス、 タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> 本計画における公共交通の位置付け等を十分に認識し、求められるサービス水準の維持・確保に努め、合理的な事業運営に関する積極的な提案を行う。 行政等の関係者との連携により公共交通の利用実態、利用者や市民のニーズを的確に把握し、利用促進につながる取組を積極的に実施する。 など
行 政 (国、県、市)	<ul style="list-style-type: none"> 本計画で掲げた基本理念の実現に向けて、各種施策を積極的に実施する。 市民をはじめとした各関係者が実施する取組への効果的な支援や必要となる各種情報提供等を積極的に行う。 本計画を広く周知するためのPR活動を展開するため、関係者間での連携・協働のもと、様々な広報活動を積極的に実施する。 各種施策事業の推進ならびに進行管理をPDCAサイクルにより行い、目標及び事業進捗の達成状況等を検証・評価する。 など

(3) PDCAサイクルによる施策の評価・改善

社会経済情勢の変化やそれに伴う市民の価値観の変化、上位・関連計画との整合などに柔軟に対応した戦略施策の実施を進めるため、以下のようなPDCAサイクルを構築する。

【進行管理の流れ】

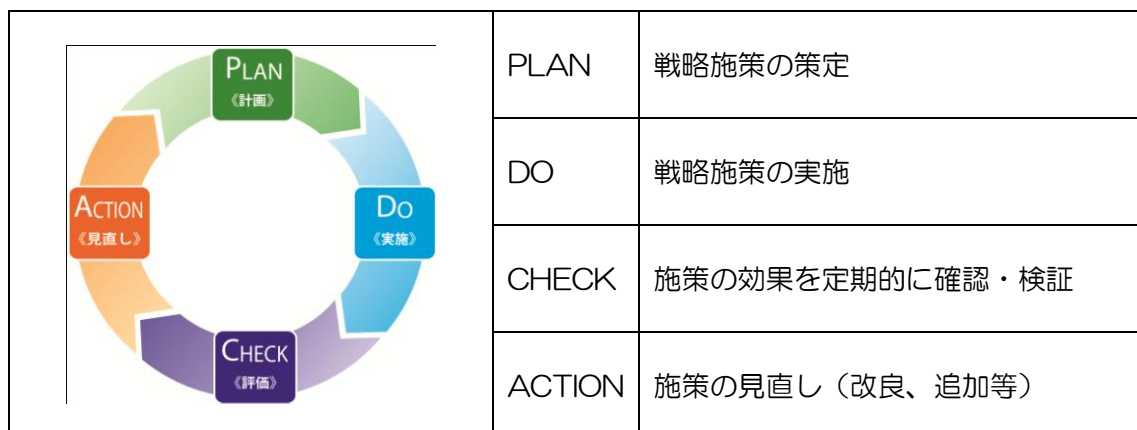


図 PDCAサイクルのイメージ